

ウラジロギボウシ *Hosta hypoleuca* Murata (表紙写真)

【評価理由】

個体数階級 3、集団数階級 3、生育環境階級 3、人為圧階級 3、固有性階級 4、総点 16。愛知県東三河地方の固有種で、園芸目的の採取のために減少している。

【形態】

多年生草本。茎は短い。葉は大きいものが1~2枚束生し、長さ15~35cmの柄があり、葉身は卵形、長さ20~35cm、幅13~25cm、先端は鋭尖頭、基部は心形、質は厚く、表面は浅緑色、裏面は著しく粉白となる。側脈は片側に10~13あるが、脈はあまり隆起しない。花期は7~8月、花茎は分枝せず、長さ30~40cm、基部で少し曲がり、葉より高くなりならず、先端部の短い総状花序に多数の花をつける。苞は開花時に開出せず、しおれない。花冠は長さ3.5~4.5cm、狭筒部と広筒部は同長、先端は6裂し、白色であるが、内側の中央部は紫色をおびる。

【分布の概要】

【県内の分布】

東：3 東栄 (小林 38786, 1992-8-12)、8 鳳来北東部 (加藤等次 1687, 1992-8-15)。

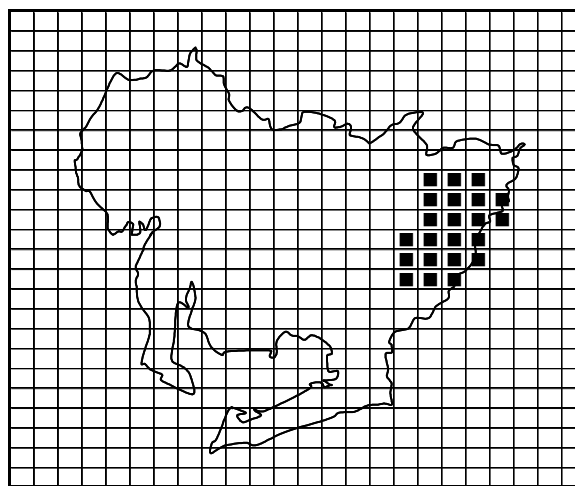
【国内の分布】

本州 (愛知県) だけに分布している。

【世界の分布】

日本固有種。

要配慮地区図



【生育地の環境／生態的特性】

岩壁の湿った部分に生育する。

	山地	丘陵	平野	海浜
森林				
草・岩	○			
湿地				
水域				

【現在の生育状況／減少の要因】

生育範囲は狭く、実際にある場所も限られている。園芸目的の採取のため、手の届く範囲はほとんどなくなっている。地形が急峻なので全滅するおそれは少ないが、そのうちに事実上観察できない植物になってしまう可能性は高い。

【保全上の留意点】

園芸目的の採取を防止するため、分布情報の公表に際し慎重な配慮が必要である。

【特記事項】

村田 (1962) によって記載された植物である。基準標本は同氏が旧三輪村で 1953 年 9 月に採集されたもので、京都大学総合博物館 (KYO) に保管されている。県条例に基づく指定希少野生動物種になっている。

【引用文献】

村田 源. 1962. 植物分類雑記 7, (25)ウラジロギボウシ. 植物分類地理 19: 67-68.

【関連文献】

保草本Ⅲp.137, 平草本 I p.3, 平新版 p.251, 環境省 p.310, SOS 旧版 p.94+図版 6, SOS 新版 p.47,49.